2026 年 11 月 19 日

報道関係者各位

テックファームホールディングス株式会社
（東証グロース 3625）

AI で加速するサイバー攻撃に備え、テックファームが脆弱性対策の緊急支援を開始

PHP の重大な脆弱性にも対応、開発元を問わず無料の簡易診断から改修・復旧、継続保守まで迅速に支援

ICT ソリューション事業を手掛けるテックファーム株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：千原信悟、以下「テックファーム」）は、サイバー攻撃への AI の悪用が進むなか、脆弱性への対応に課題を抱える企業向けの緊急支援サービス（以下「本サービス」）を 2026 年 11 月 19 日から提供開始します。

本サービスでは、無料の簡易診断を入口に、システムの詳細診断から改修・テスト・本番適用、その後の継続保守まで支援。開発元への連絡や仕様書の整理を待たずに即座に調査へ着手できるため、担当者が不在のシステムや他社開発システムでもスピード感をもった対応が可能です。

■AI の活用により変わるサイバー攻撃 企業に求められる迅速な脆弱性対応

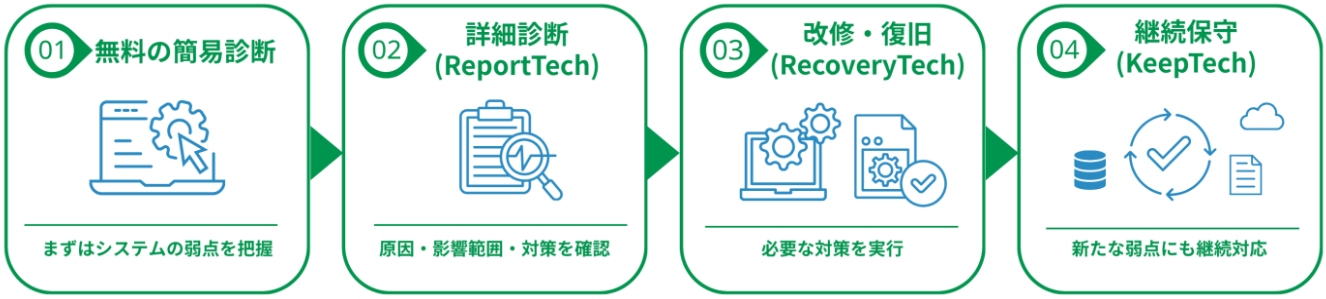
サイバー攻撃への AI の悪用が進み、システムの弱点の発見や攻撃の一部が自動化されています。直近では、2026 年 10 月 21 日に PHP の開発チームが、認証なしで外部から任意のコードを実行される恐れがある 2 件の重大な脆弱性に対する修正版を公開し、速やかな更新を呼びかけました。こうした脆弱性への対応では、システムへの影響を調査し、必要な改修を速やかに進めることが求められます。

一方、企業のシステムでは、修正版の適用だけで対応が完了するとは限りません。他のソフトウェアやライブラリとの互換性、既存機能への影響を確認する必要があります。開発当時の担当者が不在であったり、外部の開発会社との保守契約が終了していたりする場合には、調査や改修への着手自体が難しいケースもあります。

PHP「Security advisory: Critical remote code execution vulnerabilities, update now」（2026 年 10 月 21 日）https://www.php.net/archive/2026.php

■他社が開発したシステムにも対応、診断で終わらず改修・復旧まで支援

本サービスでは、システムの状態や課題に応じて、以下の支援を提供します。



① 無料の簡易診断｜まずはリスクの把握から

システムのプログラムや、保有している場合はシステムの構成情報をもとに、AI を活用してセキュリティ上の問題につながる記述や、古いソフトウェア部品の利用状況などを確認します。

※サーバー設定や実行時の問題は対象外です。簡易診断だけで安全性を保証するものではありません。

② 詳細診断（ReportTech）｜影響範囲と対策を明確に

模擬攻撃による検証や、各所の弱点調査、プログラムの解析を組み合わせ、原因と影響範囲を詳しく調査。構成情報が整っていない場合は、その把握から支援し、結果をもとに対策を提案します。

③ 改修・復旧（RecoveryTech）｜事業への影響を考慮し、対策を実行

単純な更新では対応できないシステムも、現状と影響範囲を調査したうえで改修方針を策定。プログラムの修正、テスト、本番環境への反映まで対応し、必要に応じてシステムの入れ替え（リプレイス）も提案します。

④ 継続保守（KeepTech）｜新たな弱点にも継続的に対応

改修後も、新たなセキュリティ上の問題が見つかる可能性があります。2026 年 10 月 1 日から提供している保守サービス「KeepTech」を通じて、システムを構成するソフトウェアの情報を管理し、新たに公表される脆弱性の情報と継続的に照合。AI を活用して影響の有無や優先度を判断し、修正案の作成やテスト環境への適用、自動テストなどを実施します。

■開発・保守の技術力を生かし、一気通貫で支援

テックファームの強みは、セキュリティ上の問題を見つけるだけでなく、システム開発・保守で培った技術力を生かし、実際の改修まで対応できる点にあります。本サービスは、既存の保守サービス「KeepTech」を基盤に、無料の簡易診断から詳細診断、改修・復旧、リプレイスの提案、継続保守まで支援範囲を広げたものです。テックファームは、診断・開発・保守を一貫して支援することで、企業の事業継続とシステムの安定運用に貢献します。

【サービス概要】

・提供開始日： 2026 年 11 月 19 日
・対象： Web サイト・Web システム／アプリを運営する企業
・支援範囲： 無料の簡易診断、詳細診断（ReportTech）、改修・復旧（RecoveryTech）、
継続保守（KeepTech）、必要に応じたリプレイス（RescueTech）
・対応システム： テックファーム開発・他社開発を問わず相談可能
・料金： 簡易診断は無料。詳細診断・改修は対象範囲やシステムの状況に応じて個別見積もり
・サービス詳細・お問い合わせ： https://www.techfirm.co.jp/vulnerability-support
※対応内容や着手時期は、対象システムの状況および調査結果に応じて個別にご案内します。

■テックファームについて：AI インテグレーターとして企業変革を支援

テックファームは、1998 年の創業以来、世界初・日本初となる数多くのデジタルサービスの実現を支えてきた ICT ソリューション企業です。NTT ドコモ「i モード」の立ち上げをはじめ、多様な業界で培ってきたシステム開発力と事業創出の知見を強みに、企業の DX を支援してきました。

生成 AI の登場により、企業に求められるものは「AI を導入すること」から、「AI を前提に事業や業務を再設計すること」へと変化しています。テックファームはこれに対応するため、AI を企業に実装し、成果へとつなげる「AI インテグレーター」を目指しています。AI 戦略の策定から業務設計、システム開発、運用・定着までを一気通貫で支援し、人と AI が協働する新しい企業のあり方を実現するパートナーとして、企業の持続的な競争力の創出に貢献していきます。

【企業概要】

会社名　テックファーム株式会社
所在地　東京都新宿区西新宿 3 丁目 20 番 2 号　東京オペラシティタワー23F
代表者　代表取締役社長　千原 信悟
設　立　2015 年
資本金　100 百万円（2026 年 6 月末現在）
ＵＲＬ　https://www.techfirm.co.jp/

※記載の商品名、サービス名及び会社名は、各社の商標または登録商標です。

【本プレスリリースに関する報道関係者の方々のお問い合わせ】
テックファームホールディングス株式会社　コーポレートコミュニケーション室
Email：press@techfirm.co.jp
コーポレートサイトのお問い合わせフォーム：https://www.techfirm-hd.com/contact